

稲子岳南壁左カンテ 山行報告書

【山 域】 ハヶ岳
【コース】 稲子岳南壁左カンテ
【日 時】 平成30年8月3日（土曜日）
【天 候】 晴れのちくもり
【メンバー】 CL：上茂，萱野（香），花島
【コストム】 みどり池入口P 8:20 ～ しらびそ小屋 9:40--10:00 ～ 取付き 11:00--11:40 ～
終了点 14:15--14:30 ～ しらびそ小屋 15:30-16:00 ～ みどり池入口P 16:50

【山行報告】

チンネに向けて、最後に打合せを兼ねて3人での登攀訓練に行ってきました。

三つ峠は「行き過ぎたから（どんだけ通ったの?）」ってことで稲子岳に決定。

千葉を4時に出発し、双葉SAで焼きたてパンの朝食を済ませ、ステレオタイプな高原といえはだれもが思い描く清里を抜けると、野菜畑が広がる。

裾野を広げたハヶ岳は靄がかかりぼんやりしている。これからそのふところに向かって行くのだが、周りは山また山なのに、それぞれが適当な距離があり、解放感にあふれている。こりゃ人も集まるわけだ。小海線もちゃっかりハヶ岳高原線なんて愛称まで付けちゃうのも頷けるね。が、それも野辺山までの話。佐久広瀬からは一変、山が迫り昭和のテイストがそこここ。カフェよりめし処、こっちの風景のほうが昭和世代には馴染みやすく、落ち着く。松原湖で国道を離れ、稲子湯方面へ。

稲子湯の先に15台ほど駐車できるみどり池入口駐車場があり、今回はこっちに駐車する。

ゲートの先の沢沿いの林道をショートカットを交えながら進むとやがて山道に入る



レールがそのまま残る道や北ハツ気分を味わえるコケを眺めながら、一汗かいたところでしらびそ小屋に到着する。



（通年営業のしらびそ小屋）



（みどり池と稲子岳）



案内板は、漢字・ひらがな・カタカナと色々でした。

この小屋は厚切りトーストが有名ですが、チーズケーキセットもなかなからしい。ただし軽食タイムは15時まで。戻ってこれたらよかったのですが・・・。残念ながら次回の楽しみになってしまいました。

本沢温泉への分岐を過ぎ、南壁への取り付きを探すがネット情報とは合わない。ケルンもあり記録の位置をGPSで確認し、林の中へ。



(南壁へはケルンが目印)



(こんな感じの斜面)



(最後はあえぎながらの登り)

適当に抜けて急な斜面を登ると岸壁の基部が見えてきた。先行パーティーのコールも聞こえてきた。やや下がると目指す左カンテの取り付きに到着。2パーティーが取付いていて、しばらく待つ。



(左カンテ取付きの目印は テープ と 赤いハーケン)



(2ピッチ目)



(1ピッチ目)



(3 ピッチ目)



(3 ピッチ目を上から見下ろす 見た目ほど傾斜はありません)



(4 ピッチ目に行く先行パーティー)



(4 ピッチ目)



(5 ピッチ目)



（6ピッチ目）



（登攀終了後）

通常5ピッチのルートだったが、1P目を分けたので6ピッチになりました。練習なので1P毎トップを交代する。3人でのトップ交代は色々面倒だ。その都度、末端を受け渡すので次のピッチはロープが上と下から出るのロープが絡まること甚だしい。

メインロープで自己ビレイを取った方がいいが、そのロープは次のトップに受け渡すロープで改めてビレイを取り直したりと課題山積。本番までには約束事を決めてタイムロスを少なくしなきゃ。

ピッチ毎の支点は整備されているが、ルート上に石がゴロゴロしていてロープの流れによっては落石を起こしそうで怖い。ガバはあるので、体が外へ流れてもスタンスが小さかったり、外傾していても安心できる。壁の中でも違うルート取りができたり、壁を避けて回り込めるところもあり、レベルに合わせてルートが取れる。初級のマルチにはちょうどいいのかな。

帰りは電気柵を潜って柵沿いに中山峠に向かうと踏み跡どころかしっかりした道があった。途中でルートを見失い、適当に下ると中山峠からしらびそ小屋への登山道にひょっこり出た。

あとは迷うことはない。北八ツの森を満喫しながら下るだけだ。



（しっかりした下山ルート）



（最後は登山道に飛び出す）

せっかく北八ヶ岳まで来たので、北八ヶ岳らしい写真も載せておきますね。



（終了点からの天狗岳）



（南壁からのしらびそ小屋周辺）



訓練山行ではありましたが、壁に取り付くのに登山道を外れて北八ツの森を歩いたり、高原のドライブ気分も味わえて終始のんびりした山行でした。

今度はもう少し早い時間に下山して、チョットはマシな格好して、萌木の村にあるメリーゴーラウンドカフェでお茶でもして、高原気分をさらに満喫してみようかなっと。

以 上